

平成25年度子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業

## 体験活動スキルアップ研修会 ファシリテーション編①

平成25年6月1日(土)～2日(日)

### 1. 事業の目的(趣旨・ねらい)

自然体験活動を行っている施設職員関係者や団体、教職員を一堂に会し、自然体験活動の技術や知識を向上したり情報交換を行ったりし、青少年の自然体験活動のさらなる充実を図る。

1回目の研修会では、体験学習の手法による人間関係作りに必要な手法と効果を体感する。また、受講者が研修から学んだ、仲間づくりの過程において培われる自己肯定感の向上についての理論を学級や生徒会活動の運営、部活動等の活動場面に生かすことを目的とする。

### 2. 事業の概要

#### (1) 日程

平成25年6月1日(土)～2日(日)

#### (2) 募集人員

30名 教職員、施設職員、体験活動指導者、青少年団体関係者等

#### (3) 参加者

13名 教職員7名 施設職員3人 一般3名  
(岡山県10名 島根県2名 大阪府1名)

#### (4) 講師

(株)プロジェクトアドベンチャージャパン 門田 卓史氏

#### (5) 企画・運営のポイント

今回は、体験学習

の手法と効果を知り様々な場面で活用してもらいたいとの考えから、対象を自然体験活動を行っている施設職員関係者や団体、教職員とした。また、初参加の受講者が多いことから、まずは人間関係作りに必要な手法と効果を十分に体感できるようにし、仲間づくりの過程において培われる自己肯定感の向上についての理論を、自分たちの活動場面で実際に生かせるように講師に示唆をいただきながら、研修後の目標を設定する場面を作るように企画した。

### 3. 活動の内容等

#### (1) 日程等

6 / 1 (土)		6 / 2 (日)	
時程	活動	時程	活動
9:30	受付	6:15	起床・洗顔
10:00	開会式	6:45	掃除
10:30	アイスブレイク	7:15	朝のつどい
12:00	昼食	7:30	朝食
13:00	課題解決型の活動①	8:30	片付け
17:20	夕べのつどい	9:00	課題解決型の活動②
17:35	夕食	12:00	昼食
18:30	理論について	13:00	まとめ
20:30	情報交換会	15:30	閉会式
21:30	入浴		
22:00	就寝		

#### (2) 活動の状況

1日目の午前と午後は、アイスブレイクや課題解決ゲームを行いながら体験学習の手法を体感するとともに理論を学んだ。また、研修のテーマでもある人間関係作りについて自分の考えを整理した。夜の講義では、ビーイングという手法を用い、グループで活動するのに必要なことを考え目標を設定した。

2日目は、課題解決ゲームを行い、活動後、ふりかえりを行った。課題解決ゲーム中の行動を昨日たてた目標に照らし合わせながらふりかえり、目標を再設定することを繰り返した。その中で、人間関係作りに必要な行動や態度、考え方などを体験的に学んだ。研修の最後には、もう一度「人間関係作りって何だろう?」「なぜ人間関係作りを行うことが必要なのか」を問い直し自分の考えを深めるとともに、講師に示唆をいただきながら、今後、研修での学びを自分たちの活動場で実際に生かせるように目標を設定した。



[講義]



[所内エレメントを使った  
課題解決ゲーム①]



[所内エレメントを使った  
課題解決ゲーム②]

## 4. 成果・課題

### (1) 成果

講師に体験と理論をリンクさせながら研修を進めていただいたので、参加者の理解を深めることができた。体験学習のサイクル（「体験」→「ふりかえり」→「一般化」→「適用」）を「実社会」に生かせるように研修でも取り上げていただき、学んだことが具体的に生かせる研修会となった。

体験学習の手法を取り入れた研修に初めて参加する方が多かったが、体験学習の基本的な理論とその有効性をしっかりと理解し、実社会に生かそうとする意欲も高めることができた。

### (2) 参加者の声

○事業全体に対する満足度・・・100%

{参加者自由記述}

- ・実際に体験することで分かる気づきが沢山あり有意義な講習会となった。
- ・ファシリテーションというねらいが明確でよかった。
- ・体験と理論がリンクされ、とても納得でき大変満足した研修内容でした。
- ・2日間を通して、仲間作りの重要性が活動を増すごとにだいぶ分かってきた。
- ・知的活動の時間も充実していた。
- ・体験を通して学べて良かったです。
- ・充実したスケジュール、量だと思います。

### (3) 今後の課題等

- ・思いや立場の違う今回の参加者を、第3回目のファシリテーション編②をはじめとする体験活動スキルアップ研修会の各シリーズにどう関心をもたせ参加を促していくかが、今後の課題である。



[ビーイング]



[受講者の皆さん]